

施設の管理・運営

事業名	829	東海自然歩道管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	44	資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	款	07	商工費
			項	01	商工費
			目	03	観光費
担当部課名	大山田支所 産業建設課			細目	102
作成者氏名	廣田 稔	連絡先	47-1157	細々目	02
					観光施設維持管理経費
					東海自然歩道管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	直接の対象は管内の東海自然歩道、最終の対象は東海自然歩道利用者	ハイカーに東海自然歩道を安全に利用してもらえる。
本年度事業内容	田代池～新大仏寺～富永～須原～笠取山 総延長 15.7km 施設管理業務委託料 (パトロール・草刈・路傍便所清掃) 740千円 その他経費 21千円	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: )	根拠法令・要綱等
市内の類似施設		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳 (千円)	事業費(B)	794	761
	委託料	556	740
	その他	238	21
合計(A+B)	1,514	1,481	1,481
③財源内訳 (千円)	特定財源		
	国県支出金		761
	受益者負担 その他特財		
一般財源	1,514	720	720
上記①～③に関する特記事項 自然歩道管理委託金として国より収入			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用人数	人	約1000	1000	1000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
維持管理している管内延長割合	維持管理している管内ハイキングコースの割合を指標設定とする 管理延長を分母とし、管理済延長を分子とする	%	100 目標 ( 100 )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

昭和49年に完成した、東京から大阪まで結ぶ全長1,697kmのハイキングコースであり、自然とふれあうコースで訪ねる人々を心のふるさとして、人の心をいやすものであります、今後も継続して維持管理を継続するものである

評価	必要性	4	現状維持 危険箇所の早期発見及び草刈等によりハイキングコースの確保	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		